

会 議 録

名 称	酒田市子ども・子育て会議（令和4年度第1回）	
内 容	<p>○会長及び副会長の選出</p> <p>○協議</p> <p>（1）子ども・子育て支援事業計画令和3年度実施状況について</p> <p>○報告</p> <p>（1）新型コロナウイルス感染症による臨時休校等の状況について</p> <p>（2）新型コロナウイルス感染症による臨時休園等の状況について</p> <p>（3）臨時休園に伴う代替保育事業について（変更点）</p>	
日時・場所	令和4年5月27日（金）午後1時30分～3時20分・酒田市役所703会議室	
出席者	委 員	柿崎 敦子委員、渡部 仁利委員、富山 航太郎委員、佐藤 恵美委員、佐藤 真紀委員、山口 昇子委員、齊藤 公乃委員、石垣 紀子委員、高橋 利春委員、遠藤 由美子委員、灰谷 和代委員、伊藤 直子委員、岡部 覚委員、鈴木 渉委員
	事務局	健康福祉部長兼福祉事務所長、福祉企画課長、健康課健康主幹兼新型コロナウイルスワクチン接種対策主幹、教育委員会学校教育課指導主幹、子育て支援課長、子育て支援課子ども・家庭総合支援主幹兼子ども・家庭総合支援室長ほか
会議の結果	別紙のとおり	
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出欠席名簿 ・ 酒田市子ども・子育て会議条例 ・ 資料1 子ども・子育て支援事業計画令和3年度実施状況について ・ 資料2 新型コロナウイルス感染症による臨時休校等の状況について ・ 資料3 新型コロナウイルス感染症による臨時休園等の状況について ・ 資料4 臨時休園に伴う代替保育事業について（変更点） 	

酒田市子ども・子育て会議（令和4年度第1回）

日時：令和4年5月27日（金）

午後1時30分～3時20分

場所：酒田市役所703会議室

～ 1 開 会 ～

○子育て支援課課長補佐

それでは、定刻となりましたので、会議を始めさせていただきます。本日は、お忙しい中ご出席いただきまして、ありがとうございます。暫時の間、進行を務めさせていただきます、子育て支援課課長補佐の渡部と申します。よろしくお願いたします。なお、本日欠席の方をご報告いたします。公募委員薬丸有希子様、特定非営利活動法人がくほれん with 酒田菅原司芝様、酒田市子ども会育成連合会宮田浩一様、酒田市民生委員児童委員協議会連合会加藤武雄様、酒田市小学校長会齋藤雄一様、酒田地区医師会十全堂大滝晋介様、以上6名の委員より欠席のご連絡をいただいております。したがって、本日は委員20名中14名のご出席をいただいております。酒田市子ども・子育て会議条例第7条第2項に、委員の半数以上の出席がなければ会議が開くことができないと定めておりますが、本日は、過半数の出席をいただいておりますので、規定の要件を満たしておりますことをご報告いたします。それではこれより、令和4年度第1回酒田市子ども・子育て会議を開会いたします。次第に従いまして進めさせていただきます。初めに、健康福祉部長、白畑よりご挨拶申し上げます。

～ 2 健康福祉部長あいさつ ～

○健康福祉部長

お忙しいところご出席いただき、また、日頃より本市の子育て行政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。本会議は豊かな子育て環境と子どもとその家族の幸せの実現という視点から、子ども・子育て支援事業計画の策定や、進捗状況の評価点検、保育施設等の利用定員について、委員の皆様からご審議ご助言をいただく会議となっております。残念ながら、昨年度2回会議を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症が流行していた時期となってしまったため、中止とさせていただきました。しかしながら、委員の皆様からは、協議報告事項に関して、書面で多くのご意見をいただき、ご回答を差し上げたところがございます。ありがとうございました。

現在も新型コロナウイルス感染症の収束が見えない状況の中で、子どもや家庭を取り巻く状況が非常に不透明であり、いろいろな面で危惧されることがございます。本市におい

でも、これまでイベントなどを初め、様々な事業を中止縮小としておりましたが、ワクチンの接種が進むとともに、人の移動などの制限や規制が緩和されたことで、明るい兆しも少し持てる状況となってきました。皆さんご存知の通り、先週は3年ぶりに酒田まつりの山車行列を開催できましたことは、関係機関の皆様初め、市民の大きな喜びとなったと感じております。まだまだ、油断はできませんが、基本的な感染予防と経済活動の両立を図りながら、豊かな子育て環境と子どもや家庭の家族の幸せ実現のため、必要な取り組みを進めて参りたいと考えております。少しご紹介させていただきたいのですが、今年度の健康福祉部の重点的な取り組みの一つとして、法律の改正に伴いまして、すべての妊産婦・子育て世帯・子どもの一体的、包括的な相談支援などを行うセンター機能のあり方を国が示しております。それを市としても、どういうふうに進めていくかを検討する予定でおります。また令和5年4月に国が設置するこども家庭庁に連動した対応や、福祉総合相談窓口機能なども併せて、関係分野の部署を横断した体制で検討を進めていきたいと考えておりまして、今週第1回目のワーキンググループをそれぞれ開始したところです。加えて、今年は、市の最上位計画であります、酒田市総合計画後期計画の見直しの年になっております。この計画の中にも、子育て支援という文言をしっかりと入れ込んで、市全体として取り組んでいきたいと考えているところでございます。

本日の会議では、令和3年度、昨年度の市の取り組みに関して、ご協議をいただく予定でおります。今後の取り組みに生かすためにも、ぜひ率直な忌憚のないご意見を頂戴できればと考えております。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

～ 3 自己紹介、会長及び副会長の選出 ～

(事前配付資料、当日配付資料及び持参資料について確認)

○子育て支援課課長補佐

令和3年度、11月に任期満了に伴う委員の改選がございました。2月に予定しておりました会議は、コロナの感染状況により中止とさせていただきました。また、年度替わりで委員の交代もございますので、皆様から自己紹介をいただきたいと思います。所属、お名前など一言ずつお願いいたします。順番は、出欠席名簿順に、酒田飽海PTA連合会柿崎敦子様から順にお願いいたします。委員の皆様につきましては、職員側の自己紹介も行います。

○柿崎 敦子委員

こんにちは。酒田飽海PTA連合会から参加させていただいております、新堀小学校でPTA会長をしております柿崎敦子と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

○富山 航太郎委員

みなさんこんにちは。酒田地区私立幼稚園・認定こども園PTA連合会から出席してお

ります、認定こども園酒田幼稚園の父母会長をやっております富山と申します。よろしく
お願いいたします。

○佐藤 恵美委員

こんにちは。山形県立酒田特別支援学校のPTA会長をしております佐藤恵美と申しま
す。どうぞよろしく申し上げます。

○佐藤 真紀委員

こんにちは。公募委員の佐藤真紀と申します。今回、3期目になります。よろしくお願
いします。

○山口 昇子委員

こんにちは。酒田市法人保育園・認定こども園協議会から出席させていただいておりま
す、若浜保育園の園長で山口と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

○齊藤 公乃委員

酒田地区私立幼稚園・認定こども園連合会会長の齊藤です。アテネ幼稚園の園長をさせ
てもらっています。よろしく申し上げます。

○石垣 紀子委員

こんにちは。NPO法人にこっとの石垣紀子と申します。日頃子育て中のお母さん方と
接することが多いので、そういったお母さん方の声をこの会議に届けることができたらと
思って参加させていただいております。どうぞよろしくお願いいたします。

○高橋 利春委員

こんにちは。自治会連合会から参りました高橋です。よろしくお願ひしたいと思ひます。

○遠藤 由美子委員

こんにちは。庄内総合支庁子ども家庭支援課の遠藤と申します。よろしくお願ひいたし
ます。

○灰谷 和代委員

こんにちは。3月まで東北公益文科大学にいました灰谷和代と申します。4月からは、
静岡福祉大学子ども学部子ども学科というところで、教員をしております。今日は静岡か
ら来ました。ぜひ皆さんといろんなご意見を交換できたらいいなと思ひますので、どうぞ
よろしくお願ひいたしします。

○伊藤 直子委員

こんにちは。酒田商工会議所女性会から出席させていただいています伊藤直子と申しま

す。どうぞよろしく願いいたします。

○岡部 覚委員

皆さんこんにちは。酒田青年会議所から出席させていただいております岡部覚と申します。初めてですので、いろいろ教えてもらいながらやっていきたいと思っております。よろしくお願い致します。

○鈴木 渉委員

こんにちは。連合山形酒田飽海地域協議会から出席させていただいております鈴木と申します。欠席が多かったのですけれども、出席できるよう都合をつけて参加したいと思っております。よろしくお願い致します。

○事務局

～省略～

○子育て支援課課長補佐

ありがとうございました。なお、これまで委員をご推薦いただいております酒田市法人保育園・認定こども園保護者会連絡協議会が、令和4年3月で解散されたため、今回から酒田市法人保育園・認定こども園協議会の会長園である、うえだこども園保護者会より委員をご推薦いただいております。

続いて、会長、副会長の選出に移らせていただきます。酒田市子ども・子育て会議条例第6条第1項において、子ども・子育て会議に会長及び副会長各1名を置き、委員の互選によりこれを決めることとしております。令和3年11月の任期満了及び年度替わりでの委員の交代により、現在会長及び副会長は不在となっておりますので、本日会長及び副会長をご選出いただきたいと思います。どなたか推薦はございませんでしょうか。

(推薦なし)

○子育て支援課課長補佐

もしなければ、事務局より提案をさせていただきますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

○子育て支援課課長補佐

ありがとうございます。事務局案といたしまして、会長に、学識経験者である3号委員で、3月までは東北公益文化大学で、4月からは静岡福祉大学で、准教授として、子ども家庭福祉、ソーシャルワーク、保育・子育て支援などについて研究をされております灰谷和代委員をお願いしたいと思います。また、副会長には、学童保育の運営において、子どもや保護者の事情にお詳しい特定非営利活動法人がくほれん with 酒田事務局長の菅原司芝

委員をお願いをしたいと思います。以上ご提案をさせていただきます。賛成の方は挙手をお願いいたします。

(挙手多数)

○子育て支援課課長補佐

挙手多数であります。それでは、会長を灰谷和代委員に、副会長を菅原司芝委員をお願いいたします。それでは、会長に改めまして、ごあいさついただければと思います。よろしくをお願いいたします。

○灰谷会長

この度、会長を務めることになりました灰谷和代と申します。自己紹介でもお伝えいたしましたように、3月までは東北公益文科大学にいて、コロナ禍だったのでなかなか子どもの分野に関わることができなかつたのですけれども、山形・酒田から離れても、こうした形で関わらせていただけることをとても光栄に思います。他の地域に行きましたが、他の地域でのことなどもご紹介しながら、安心安全な子育てができるまちづくりを目指していきたいと思いますので、どうぞよろしくをお願いいたします。拙いご挨拶になってしまいましたが、よろしくをお願いいたします。

○子育て支援課課長補佐

ありがとうございます。子ども・子育て会議条例第6章第2項において、会長は会議の議長となるとしております。では灰谷会長から、議長席に移動していただきたいと思います。では、これより、灰谷会長へ議事進行を引き継ぎたいと思います。灰谷会長よろしくをお願いいたします。

～ 3 協 議 ～

○灰谷会長

あらためて、灰谷でございます。委員の皆さまからは、忌憚のないご意見、ご質問をいただきますとともに、議事進行にご協力くださいますようよろしくお願いいたします。それでは、次第に従いまして進めさせていただきます。

まず、4番目の協議(1)の子ども・子育て支援事業計画令和3年度の実施状況について、資料1により事務局から説明をお願いしたいと思います。皆様お手元にある資料1をご覧ください。それでは事務局の方、よろしくお願いいたします。

○子育て支援主査兼子育て支援係長

(資料1により説明)

○灰谷会長

ありがとうございました。子ども・子育て支援事業計画令和3年度実施状況について説明がありました。令和2年度との比較も少し入れていただきましてとても分かりやすい説明をいただきましたが、ここで皆さまからご意見、ご質問などあればお聞きしたいと思いますが、いかがでしょうか。たくさんの取り組みがあって、それぞれ皆さまの分野によって多岐にわたるとは思いますが、ぜひこの場で何かご意見それからご質問も含めて、意見の方いただければと思います。いかがでしょうか。

○石垣 紀子委員

酒田市内の保育園でやっている一時預かりについてですが、今現在通常通り行われているのでしょうか。にこっとでも一時預かり事業をしているのですが、条件によっては、保育園での一時預かりをお勧めしたりもしていました。このコロナ禍になって、どのくらいの利用状況があるのか、今後もお勧めしてよろしいのかどうかを確認したいので、よろしくお願いたします。

○子育て支援課長

一時預かりに関しまして、令和3年度の実績はまだ数としては出ていないですけれども、一時預かりの受け入れについては控えているとか、そういうことはない状況です。ただ、令和2年度の実施状況を見ましても、実績はちょっと少なくなっておりまして、令和2年度は707人の一時預かりという実績でございました。令和元年度が940人、平成30年は1,203人という状況でしたので、実績としては下がってきているという状況です。どういう理由で少なくなったかの分析はしていないところではあるんですけども、例えば、昨年度から統合したみなと保育園の一時預かりに関しては、大分予約が多いという状況にはなっております。令和3年度の実績をまとめた時にどのくらい増えてくるかなというところではあります。

○灰谷会長

ありがとうございます。にこっとさんの方でも、そういったお預かりをされているとのことでしたが、そちらの方ではコロナの影響はいかがでしょうか。

○石垣 紀子委員

利用者の数は減っています。コロナに関しては条件つきでお預かりすることにしてはいますが、その時に酒田市の方をお勧めしていいものかどうか不安だったので、通常どおりやっているのであればお勧めしたいと思います。

○子育て支援課長

コロナの感染の状況で、その時期どうしても受け入れが難しいという状況はあるかとは思いますが、ただ、みなと保育園に関しては、場所を変えて支援センター側で一時預かりをしていますので、あまり大きな影響がなければ受け入れはできると考えております。

○灰谷会長

状況によるということですね。

○子育て支援課長

申し訳ありません。先ほど令和3年度の一時預かりの実績はまだまとめている途中だとお話したのですが、1,251人という実績だったということで、少し増えている状況と考えています。

○灰谷会長

また、そのあたりの情報共有しながら進めていただければと思います。ありがとうございました。

このように、新型コロナウイルス感染症に関わって、先ほども説明があった通り、中止もしくは実施はしたものの結構影響を受けたものもまだまだたくさんあると思いますし、今年度に至ってもまだ終息したとは言えないので、いろんな影響が出てくるかと思うのですが、皆様それぞれの立場で何か今後こういったことが考えられるのではないかとか、もしくは、影響を受けて中止もしくは実施はしたものの、こういった点で難しかったっていうことがあれば、ぜひ教えていただきたいのですが、いかがでしょうか。今日は、保護者の方もいらっしゃると思いますので、PTAの方とか、保護者会の方とか、例えば保護者の方からもこういった声があるよとかいったことはないでしょうか。もしよろしければ、PTA連合会の柿崎様お願いします。

○柿崎 敦子委員

この間、同じくPTAの役員をしているお父さんから聞かれた話ですが、学校の年間行事の中で、保護者の懇親会っていうのをやるとかやらないとか、そういうのを聞いたことに対して、自分のお子さんが入学した時点で、コロナの影響で懇親会自体をしていないっていう状況が当たり前だったものですから、そういう取り組みがあるんですかっていうふうに聞かれました。私たち、中学生とかの子どもがいる親については懇親会があるのは当たり前という状況だったんですけども、令和2年、令和3年入学のお子さんの親御さんについては、そういう保護者の懇親の場があるっていうことも知らずにきたっていうことをその時初めて知って、すごく驚いたっていう経験はありました。

○渡部 仁利委員

遅れて参加しました、申し訳ございません。渡部です。私には今小学校6年生の子がいるんですけども、一番下の子が保育園の年長ということで、今通わせていただいているんですけども、どうしてもその上の子たちと比べると、保護者同士の顔を合わせるような機会も少なく、コロナということで、マスクして顔もちょっとわからない。話したこともないということで、なかなか保護者同士で話す機会もないので、ちょっとそういった情報は上がってきていないという状況です。

○灰谷会長

ありがとうございます。声も上がってこないぐらい、交流が今はあまりできていない状況になってきたということですね。同じくPTAの方で、何かコロナ以外でもいいのですが、保護者側の声としてありましたらよろしくお願いします。

○富山 航太郎委員

私の方も同じような感じで、やっぱりちょうど私の子どもが、コロナが始まった時に入園となったため、父母会等の交流行事が軒並み中止というか、できない空気っていうところがあったので、今年会長をやっていますけれども、周りで何がどうのっていうところを把握することすら難しいくらい、関係が希薄になってきているのは感じてはいます。

○灰谷会長

ありがとうございます。一緒に過ごしているのにといいところですよ。同じく、特別支援学校のPTAの方ではどんな感じでしょうか。

○佐藤 恵美委員

支援学校としては100名足らずですけれども、コロナに入り、今までの運動会は小中高合同だったんですけれども、そちらを小と中と高に分けて、分散型になった面もあります。そうすると、小学校で入ったお母さんたちにすると、保護者との関わりの場がやっぱり少ないということもありますし、今まであった先生たちとの交流の懇親会、結局飲食が関わるものですから、そういったことも中止になるので、直接先生と話す機会も減り、コミュニケーションが、本当はできたはずなんですけれども、諦めている部分が結構出てきたんじゃないかなってというのが、ちょっと残念なところでもあります。今年から段々と活動が増えて、戻ってきてくれればいいとは思っています。

○灰谷会長

ありがとうございます。こうした、今年コロナ禍3年目で、2年間のうちにそういった交流がかなり減ってきているということ、いろんな影響があつて、実施をしているものもあるけども、保護者の部分の集まりとかができていないところが今ちょっと出てきたかなと思うのですが、そのあたり、公募委員の方は、そういうことも含めて、何かご意見等ありましたらお願いします。

○佐藤 真紀委員

私は、小学校4年生の息子がいるのですが、発達障がいがありまして、学校の支援級に通っているんですけれども、やはり支援級だと学校によって通っているお子さんの人数が違ったりします。ちょっとそういった悩みを相談できる場ってというのが、やはりこう集まって話す機会も、コロナっていうところもありますし、それ以外にちょっと集まって話すというか相談しあえる場っていうもの自体があまりないと、そこそこの学校の支援級に

よって学習だったり生活の取り組みの違いなどもあるので、そういった情報交換ができる場があればいいなどは常々考えております。

○灰谷会長

ありがとうございます。それは、もしかするとコロナにかかわらずってところもあるのかもしれないね。そういった保護者の方、実際に子育てをしている皆様の声からして、実際に今度は支援をする側というか、そういった方々として今こういうことを考えているんだってことがありましたら、教えていただきたいのですが、いかがでしょうか。酒田市法人保育園・認定こども園協議会の山口様、お願いします。

○山口 昇子委員

そうですね。コロナ禍も3年目になりましたけれども、市内でも休園ですとか休校が相次いでいる状況の中で、やっぱり園としても慎重にならざるをえない部分も多いです。これまでできていた行事ですとかそういうことも見直したり、また新たな変化っていうところで検討したりっていうことの中で、子どもたちと楽しむことは進められてはきていますけれども、なかなか保護者の方と一緒にコミュニケーションの場っていうところが、まだ以前のようにはできない状況の中で、難しいなというふうに感じているところです。

○灰谷会長

ありがとうございます。先ほどのお話だと保護者と職員教員、保育者との関わりもだんだん減ってきているっていうことなんですが、何かもし何か工夫されている点とかいろいろお聞きしていることとかがあれば、ぜひ教えていただきたいのですが、いかがでしょうか。

○山口 昇子委員

なかなか保護者の方と直接のコミュニケーションが取れないですし、園にお集まりいただくということも難しいですので、できるだけ日常の保育というものを、コミュニケーションツールというか、そういう園での活動の様子の写真ですとかそういうものを、保護者の方に日常的に写真つきでお知らせをして、園での活動の様子だったり、子どもたちの姿っていうのを感じ取ってもらえるようなことは行っております。

○灰谷会長

ありがとうございます。多分、受け手側としてもいろんなことを工夫はしているものの、なかなかその保護者の方との部分、保護者同士の部分については、難しい状況になっているっていうことですね。私立幼稚園・認定こども園の方では何か情報があるでしょうか。

○齊藤 公乃委員

多分加盟園それぞれが、様々な方法を駆使して、保護者との連携を取りたいという思いはあると思います。うちの園でも、なかなか保護者が集まる機会がないっていうのもある

し、保護者の仕事の関係上、どうしても県外に数多く行かなければいけないという職種を考えたりとすると、一堂に会してというのは果たしてどうなのか。保護者の中でも温度差があり、家族環境や基礎疾患などからものすごく注意されている方と、いいんじゃないのという方と、その辺はあろうかと思えます。その中で、園ではやっぱり感染者が出ると、休園という形になったりすれば、やはり保護者の方にもご迷惑、もしくはご負担をかけるという状況になるとすると、慎重にならざるをえないという状況があります。ですので、うちの場合は今も出ましたけれども、写真や動画の配信などをしながら、保護者との面談を電話でさせてもらったりとかという形になります。保護者の方がお迎えに来た時一緒になっても、なるべく話さないでくださいとこちらは言わなければいけない状況下で、横の繋がりを強く持ってくださいなんてどうやって言っているかわからない状況になってしまうので、なかなかそれは難しいというのもあるのですけれども、その辺に関しましては、今、国も県も大きくウィズコロナに舵を切ったところがあります。マスクもしなくていいよ的な話も出ています。ただマスクしないと濃厚接触者になりますよっていうのも、パッケージとしては出されていないので、パッケージとして出されれば、ある程度マスクを外したりすることもできるのかなと。ただ、コロナよりは、明らかに熱中症の方が、子どもたちの安全の部分に関しては、危険度が高いというふうに国でも県でも市でもそういう判断をしているかと思えます。それは重々承知の上、なるべくマスクを外して濃厚接触者にならないような状況下で、かつ、教育保育を進めなければいけないというところで先生たちは非常に頭を悩ませています。そこは私たちが努力しなければいけないこの時代ですので、そこに関しては、コロナがある程度、どこの医者に行っても簡単に治療薬がもらえたりするような状況になるまでは、3年かかろうが4年かかろうが頑張っただけでいかなければいけないのかなというふうに思っております。様々保護者の中でも、やはり短時間でいいから集まりたいという思いの声も聞かれます。ですので、うちも会議等は、書面とかオンラインでという形を進めてきましたけれども、短時間で基本的にマスクを外す状況が発生しないという前提のもとで、どんどん集まりをしていきたいなと思っています。今の時代だからこそ、コロナが分かかってきたからこそ、対策をきちんと講じて、様々な、保護者との連携、保護者同士の連携を図っていきたいなと思っています。

○灰谷会長

いろいろありがとうございます。私も実は保育の現場に居たことがありまして、多分保育者として教育者として、受ける側としてはとても緊張・緊迫感も半端のない3年目だと思えます。その中でいろいろ工夫をされている状況ではあるのですが、保護者同士の今まで通りの交流もなく、そして発信ができる方だったらいいのですけれどもそうじゃないときに、やっぱりこう悩まれている方とかがそのままこもってしまったらどうしようかっていうのは心配な部分で、今後、いろんな対策を経て、コロナ禍でもそういった交流をしていく中で、またそういった部分が、はっきりと出てくるかもしれないですね。工夫されている中でオンラインとかもされているみたいなのですが、やっぱりオンラインとリアルでは違うよっていう意見も出てきているかなと思います。そういう状況の中でも、皆さんでまた乗り越えていけたらいいかなと思っています。

こちら側の方はどちらかというと、地域の方でといった話になってきたりするのですが、にこっとさんの方から今ご質問はあったんですけれども、何かこういったことをやっているかと思っているというところがあれば、ぜひ情報提供も兼ねて教えていただきたいと思います。

○石垣 紀子委員

にこっとの利用者さんは、乳幼児をお持ちのお父さん・お母さんが多いんですが、しばらくずっと休館して開けたときに、利用されたお母さんが、「支援センター、交流ひろばとかの施設が閉まってる、どこも僕行く場所がなくてつらかった」と言う方が多くて、でもそういった方は、短時間でもちょっとほかの人と話すってということがやっぱり嬉しいって感じで遊びに来てくださっていました。今のお母さん方は、やっぱりSNSをすごく駆使していらっしゃるって、実際にだれかと会うとか、遊ぶとかしなくても、ユーチューブなり何なりで、子育て情報をすごい得ているんだなっていうのを最近強く感じます。ユーチューブで、助産師さんで有名な方がいらっしゃるらしくて、その方の話をすると皆さんが食いついて、「知ってる知ってる、こうだよねあだよね」って。お母さん方はそういうので情報を得ているんだと、逆に私たちが教えてもらっている感じです。コロナになって、コロナを心配するお母さんは心配しますし、小さいお子さんはマスクできないので、なかなかこういう場所には連れて行きたくない、でも、少しでも外の空気に触れさせたいっていう人は遊びに来られる方もいらっしゃいますし、あまり気にせずいろんなイベントに参加するっていう方もいらっしゃいます。にこっととしては、開館時間も減っていますし、どうやったらお母さんが安心して遊べるかなということを考えながら、少しずつ楽しい作り物をしたり、それを配るだけでもお母さん方は嬉しいっておっしゃってくださるので、そういった活動をするようにしています。

○灰谷会長

ありがとうございます。なかなか交流できない中、乳幼児の子育ての部分で、そういった少しでも交流できる場を今作ってくださっているということが分かりました。

自治会連合会の方でも、地域の方で、そういった子育て、年齢層は乳幼児とか小学校、それぐらいの方の話も出てきましたが、それ以外にも例えばお母さん、お父さんの声だとか、何か地域で気になる声とかが上がってきていることはございますでしょうか。

○高橋 利春委員

私の出身であります松陵学区でのことですが、今コミュニティ振興会で、学校帰りの子どもさんたちを、ここにも宮野浦学区ではとありますが、こういうものを松陵学区で寺小屋式みたいなものを行っています。学童保育にも行ってない子をコミセンに集めて、宿題をやってもらったり、分からないことがあったら、管理人さんの中に学校の先生OBの方が何人かおまして、その人たちから勉強を見てもらったりという事業をやっております。それが、宮野浦学区ではここに書いてある令和2年度からですが、うちの方は令和3年度あたりからやっているのですが、これが段々市街地コミセンの方に普及しつつあるか

など見ています。そういうことも、段々八幡、平田、松山の方に普及していけばいいのかなと思っております。

○灰谷会長

ありがとうございます。学童クラブにも行っていない子どもたちにそういった支援をということなのですが、それはその地域の中の方々に、これをやっていますよっていうお知らせをする広報としては、どのようなことをされたのでしょうか。

○高橋 利春委員

最初は、父兄の方からの意見があったのもしかりですし、こちらからそういうものやってみたらどうかということを回覧板方式で地域にお知らせしたこともあります。

○灰谷会長

ありがとうございます。そういう取り組みもあるっていうことが今回分かりました。なかなかコロナ禍でやれなかった点とかも多かったとは思いますが、じわじわ少しずつ動きつつあるのかなというふうに感じております。

そうしましたら、こういった様々な活動、この計画書の「コロナの影響」「今後の方向性」をもう一度見ていただいて、何か今こういう取り組みをさせていただいている中で、「(コロナの影響)あり」とか「(コロナの影響)なし」とか、継続支援といったところで、改めてご意見があればと思うのですが、いかがでしょうか。あと、皆さんの話を聞いて私ばかりが質問するのではなくて、それはどういう取り組みですかとかそういうのがもしありましたら、一旦お聞きしたいのですがいかがでしょうか。

では、県の方の取り組みで、何か皆様にお伝えしたいようなことがありましたらお願いします。

○遠藤 由美子委員

子どもの取り組み、子ども家庭支援課の方でも様々なありますが、その中の一つで、県の総合発展計画の目標値に、子ども食堂の各地域への拡充というものを一つ目標値として上げています。酒田のこの計画の中にも、7ページの50番に子ども食堂の取り組みを支援しますということで、市内4カ所で継続されたという記載がございます。先ほどにこっとうさんから、お母さんたちがSNSで情報を取っているという話もありましたけれども、こういった取り組みを広げるために、昨年度からですが、支庁のフェイスブックやインスタグラムで、子ども食堂の取り組みを情報提供するという取り組みを始めておまして、先日、玉手箱さんの方に取材に行かせていただいております。近々掲載予定ではありますが、そこにもキッズルームのような居場所があって、子どもさんを預かってくれるというよりは、そこにいるご高齢の方もお母さんもゆっくりしながら、誰かが見てくれるような、子どもも自由に遊べるようなところもありました。そういった場所もあるんだよということ、いろんな方にお知らせできればいいなと思ってますし、こういった場所が増えていくようになればいいなということで、そういったところを増やすということを目指して掲げ

てますので、これからも取り組みを進めて参りたいと思います。ここに市内4カ所と書かれていますのですけれども、うちの補助金を使っていたところは、4カ所プラス1カ所となっていて、こちらで押さえているのは5カ所となっております。子ども食堂という形ではないのですが、フードパントリーという形で、去年泉学区さんで補助金を受けて実施しておりまして、酒田市内では5カ所ということで、我々の方では認識して実施しているところでございます。

○灰谷会長

ありがとうございます。子どもの居場所は保護者の居場所でもあり、そして地域の方々の居場所にもなっていく子ども食堂は、おそらく幼稚園、保育園、小学校、中学校、そういったところに所属されている方も多分利用することができる場所になると思いますので、園内、学校内での保護者の交流も少ないかもしれないですが、その枠を外した形での交流の場として、ぜひ今日いただいた情報なども発信していただければいいのかなと思い、お聞きしておりました。

そうしましたら、商工会議所女性会の伊藤さんの方がいかがでしょうか。ご意見とか、こういったことを今考えているところですかといったことがあればお願いします。

○伊藤 直子委員

直接子育てに関係するかっていうと、商業ベースのことになってしまうんですけど、女性が働きやすい環境の職場づくりっていうことを、会員みんなで話し合ったりとか、講師を招いて勉強会をしたりとかはしています。ここ2年、やはり保護者同士の交流できないのと同じように、私達も事業計画を立てたとしてもそれが実行できない。他の地域、例えば女性会の全国大会、県大会、東北大会とかあるんですけども、軒並み全部それが延期になったりですとか。ようやく去年あたりはリモートで、することができたんですけども、実際そういった交流会っていうのも、まだ起動してない状態なんですね。来月鶴岡で、コロナになって初めてそういった交流会ができる段階には来てるんですけども、そういう制限される中で活動をして、事業計画を立てて活動しているので、なかなか思うようにできないジレンマが皆さんあります。今後はやはり、女性が働きやすい環境の職場づくりというのをもうちょっと詰めて、それを実際にできるかどうかっていうのは、その職場でいろいろと問題を抱えていると思いますけれども、まず勉強することから始めていきたいという意識でやっています。

○灰谷会長

ありがとうございます。どうしても母親の方に負担がかかっているところも多かったりすることは、子育ての部分であると思います。国の施策等でも、父親の参加っていうところもかなり入ってきてるのかもしれませんが、女性の方が働くっていうところの部分に焦点を絞られた活動をしてくださっているみたいですね。なかなかリモートで、オンラインでというのをやっても、やっぱりリアルとはまた違うものがあって、対面の方がいろんな交流ができたりすることもあるので、今まで当たり前だったことが当たり前でなくなっ

た部分を皆さんそれぞれひしひしと考えながら、動かれているのかなと思います。

青年会議所の方では何か、子育てに関わることがあれば教えてください。

○岡部 覚委員

青年会議所では、青少年育成事業というのを1年間、委員会を設けて企画をしています。2020年はコロナの最初の年で、本当の未知のウイルスの状態だったので、事業は一旦中止して、2020年度はほとんど何もできなかったという状態だったんですけども、2021年、去年は、そのコロナと付き合いながらというか、正しく恐れようと、ただむやみに恐れるんじゃないで、正しく恐れて向き合ってできることをやろうということで、私専務理事ということで昨年1年間活動させていただきました。子どもを対象にする事業をしていると、どうしてもその人が集まらないというのがいちばんありまして、子どもたちはやりたいっていう声、昨年度で言えば、青少年議会というのを企画して、市長とか当時の市議会議長の方にも協力していただいて、子どもたちが行政に対して意見を述べる場を作ろうっていうのを企画したんですけども、やはり集まって活動ができない、オンラインだとやっぱりできないとかいろんな意見がありまして、子どもが集まらなくて、そのやろうとする子どもがコロナに感染してしまったりとかいろんな事情があつて、最後は何とか東校の生徒さんに協力していただいて事業自体は実施できたんですけども、やはり子どもがやりたくても、親がストップさせるっていう場合ももちろんありまして、それがいいとか悪いとかではなくて、やはりこうコロナっていうものがどうしても影響したのかなと思っています。今年、つい先日ですけども、酒田まつりの時に、小学生に提灯に絵を書きわいて、事前の学習を動画でやったんですけども、旧清水屋さんの脇というか、中町モールの天蓋のところ、300個の提灯を飾って、宵まつりにコンテストなんかさせていただいて、そちらも青少年育成事業ということでやらせいただいたんですけども、やはりその中でも、集まって物事をするのであれば駄目だとかですね、いろんな障がいがありましたけれども、今回に関しましては、学校の方で授業の一環として、提灯を作りますよっていう声をわいて、人数、数をしっかり集めることができたんですけども、やはりこの3年間、コロナになって3年目の中でもつくづく思うことが、やはり何かを決定するとき、親がやはり決定をして大人がその判断をして、子どもたちのその機会を奪ってるんだなっていうことをつくづく感じているところです。今回、酒田まつりのところでもあったんですけども、今年露店が300店舗ぐらい並んだんですけども、人出がものすごくてですね。うちも中学生の息子と娘と小学校2年生の息子、3人子どもがいるんですけども、うちの一番上の息子なんかは、3日間露店を歩くんですよ。19日の宵まつりに露店を歩いて、20日の日に本まつりで、私はスタッフとしてまつりに出たんですけども、そこで露店歩いて、次の日は普通に通常通り私は仕事したんですけども、息子がどっかに自転車乗って行こうとすると、またまつりに行くんだと。友達と集まって十人ぐらいで行ったんですかね。やっぱり子どもたちのその機会というか、我々、私は今年齡が36なんですけれども、その36の1年、1回何かがなくとも別になんてことないんですけども、子どもの、例えば中学校2年生の1回、例えば酒田まつりとか、そういった機会はもう二度とやってこないで、そういった機会を大切にしようというか、コロナと付き合いながらいろんな事業

とか、こういった支援をしていていただきたいなと思っています。

○灰谷会長

ありがとうございます。コロナの影響もあって、特に子どもが集まりにくいというお話を、それからやりたいことがやれない状況が、この2年と少しの間起きているということなんです。それは、コロナの前と比べてそうだとということなんですか。コロナ前は、結構やれるような環境だったのでしょうか。

○岡部 覚委員

そうですね。コロナ前と比べて、どうなんでしょうね。特にコロナだからできないことももちろんありましたし、コロナだからこそできたこともありました。先ほどからオンラインの話がよく出ていて、青年会議所の方でも、理事会をオンライン開催、今はハイブリッド開催という形で、こういうリアルの部分とオンラインの部分とかをやってるんですけども、やはり我々青年会議所の人間も皆さん経済人なものですから、企業に属してるわけで、仕事の関係とか職場の関係で、対面ではちょっと出れないっていう方もいらっしゃいますので、ハイブリッド開催してるんですけども、私は結構オンラインですごく便利でいいなと。もちろん、対面に勝てないところもあるんですけど、非常に楽だなと思うところもあって、うまくつき合っていくということなんだろうなと思いますし、多分これからの子どもたちってのは、我々よりももっと、そのオンラインっていうものの中で生きていかなきゃいけない世代だと思うので、後ほど休校等の話これから出てくるかもしれませんが、ぜひオンライン授業をして、休校じゃなくて、してもらいたいなというのをちょっと思ったところです。

○灰谷会長

ありがとうございます。コロナですごく及んだマイナスの影響と、それから、もしかしてプラスになった、コロナだからできたっていうこともあるということを見ると、ある意味比べようがないんだけど、でもみんなで考える力っていうものも、見出すことができたのかなとお聞きして思いました。

地域協議会の方では何か、このコロナ禍ではあるんですけども、子育て支援、子どもに関する事で何かございますでしょうか。

○鈴木 渉委員

連合としましては、年1回ですけども、労働者福祉協議会、労福協と言うんですけども、そこと連携しまして、年1回酒田市に要望書という形で、政策要求を出しています。その中で、子育てに関してというと、高教組さんと県教組さん、先生方の労働組合も加盟なっていますので、子どもの貧困問題が、ここのところずっと継続して要請させていただいている部分があります。それと、去年、小中学生にタブレットが1人1台配備なまして、指導する先生がやっぱり少ないんじゃないかとかいろいろ、先生中心に問題ないかということで議論はさせていただいています。それと、最近、私もまた聞きなんですけ

れども、日本一働きやすいまちということで、酒田市がなっているわけですがけれども、高校の先生からのお話で、高校生に話ししても、まずその働きやすいまちという言葉自体を知らない。あと先生方に聞いても、やっぱり知らない。これから就職する子どもたちが酒田市で働くために、酒田市でこういうことやっていますとか、こういう制度があつて働きやすいですとか、そういう魅力的なものを、これから就職する人、進学する人も多いですけども、高校生に向け発信していかないと、やっぱり地元定住っていうんですかね、地元で就職する子が少なくて、県外にどんどん人が流れていっちゃうのかなと。県外の大学に行つて、地元に戻ってくる場合もそれを知っていると知らないのでは、どうしても戻つてこようって思う気が起きないのかなと思つているので。この話は、酒田市議さんの方にも、確かお話はされてみたいなので、そういうことがありましたということで、一応お話をしておきます。

○灰谷会長

ありがとうございます。子育てしやすいまちづくりの中に、そういう働きやすいというところも入るのではないかということで、それで、それをちゃんとこう具体的に上げていかないと、高校生とか中学生もそうですということですよ。そのあたりはどうですか。酒田市の方で、今こういったことに取り組んでいるんだということ、もしこの場で何かお話できることがありましたら、ぜひお願いします。

○健康福祉部長

ご意見ありがとうございます。日本一女性が働きやすいまちを掲げて、4年目ぐらいになります。その指標としては、厚生労働省のえるぼし認定という、働きやすい女性の労働環境を示す指標を持つ企業をふやすということなどを上げてはいますし、日本一女性が働きやすい企業のリーダーの会というのを立ち上げて、酒田市長を筆頭に幾つかの企業さんで、それに加入していただいて取り組んでいるところです。ただ、日本一女性がという「女性が」が先に立つと、男性も頑張らないと日本一女性が働きやすい環境にはならないのだというようなことで、その表現の仕方とか伝え方を改めて工夫していかないといけないということで、年2回庁内全体の会議、外部の委員の先生方も含めた懇話会を年2回開催しているところです。高校生についてはやはり、昨年度の懇話会の中でもそういう意見がいろいろ出ていますので、企業体験とか、企業の見学ツアーなどを企画する際に、必ずそのことも含めて周知するような仕組みなどが必要かなということで、この階にはポスターはないんですけど、4階のエレベーターを降りるとポスターがあるんですけども、それも含めて周知をしていかないと、やっぱり外に出て行って戻つてこないお子さんが多くなると、やはり子どもが生まれなくなってしまうというようなこともありますので、そこも含めて、我々も十分意識しながら、市長はじめ、副市長も含めて、全庁的に取り組んでいきたいと思つているところです。

○灰谷会長

ありがとうございます。なかなかそのまず働くっていう意識自体を子どもたちが持つこ

と自体、すごい将来すぎて具体的に分からない中で、この酒田市がとても働きやすい場所だということ伝えるのはとても難しいのかなと、お聞きして思いました。ポスターが貼ってあったりするみたいなのでぜひ皆様、この後降りられるときに見られるようであれば見ていただいたりしてもいいのかなと思います。

そういったPR、今までもいろんな取り組みが出てきたんですけれども、皆さんそういったところで困られている点とかは、いかがでしょうか。ないですかね。せっかく集まったので、この場でぜひこういったことを伝えたいっていうのがもしおありでしたら、教えていただけるとありがたいのですが、いかがでしょうか。

○石垣 紀子委員

話の流れが変わるかもしれませんが、にこつとで、昨年度からファミリーサポートセンターの業務を委託して運営しているんですが、その担当者からぜひこれはお願いしてきて欲しいということがありましたので、この場で発言させていただきます。利用者さんからのいろいろな声を聞いた中で、今までの開所時間が平日だけだったのが、土日もなって、それまでの連絡ツールが電話だけだったのが、ラインやメールでの連絡やりとりができるようになって、すごい使いやすくなったという、そういう評価をしていただいてありがたいんですが、その一方で、ファミリーサポート利用会員と協力会員さんがいらっしゃるんですが、協力会員さんの数がすごい減ってしまっていて、そんな不足している状態がずっと続いています。業務の内容としては、お子さんの送迎というのが一番多いのですが、学校から習い事に送迎するという。また、おじいちゃんおばあちゃん家に送迎する、そういうのが多いんですが、協力会員さんもやはりちょっと高齢の方が多いので、冬期間になるとちょっとごめんなさいできませんという方が多くて、なかなかマッチングができなくて、今活動されている協力会員さんが限られてしまっているという状況なんだそうです。周知活動も、いろんなところにチラシを置いたり、SNSで発信したりはしているんですが、なかなか増えない状況ですので、この場をお借りして、皆さん方の周りでそういったファミリーサポートの協力会員にご興味があるような方がいらっしゃったら、ぜひお声掛けしていただいて、興味があるようでしたらファミサポの方に連絡いただきたいということでしたので、この場をお借りしてお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。

○灰谷会長

ありがとうございます。ファミリーサポートは確か、預かる協力会員さんと預ける利用会員さんと両方兼ねることができたりするんですよね。ぜひ、保護者の方でもそういったことに興味がある方がいたら、それも一つの子育て支援、双方の子育て支援になるかなと思いますので、ぜひPRしていただけたらと思います。もちろん女性が働きやすい場所、女性だけでなく男性が働きやすい場所としてもそういったものが、必要なのかなと思います。

皆さんのいろんな声を聞いていたらすごく時間が押してしまったかもしれませんが、そのほか何か、今回の令和3年度、2年度と3年度を比べてもいろいろ見えてきたところもあるし、今はコロナ3年目ということで、コロナの影響は、いい面もあったよという声も

ありましたし、なかなかリアルで話せない部分で、ちょっと支障が出ている部分もあったりするみたいですけれども、何とか、3年目乗り越えてきているのかなという感じはしたんですが、皆様ほかに何かこの協議のところの実施状況等々も踏まえて、それ以外にも何かご意見ございませんでしょうか。

○佐藤 真紀委員

一つ質問なんですけれども、私の子どもが支援級ということで、支援級に通っているお子さんのお母さんたちでちょっと話になっていることで、40ページの、239番「障がい児を対象とした水泳教室などのスポーツ教室を充実します」という部分なんですけれども、やはりちょっと小学校のスポ少などに入るのは難しいけれども、年齢も上がってきて、体力なんかもついてきて、放課後とかの余暇活動をする場所がなかなかなくていうことで困っているお子さんとかご家庭も多くて、光ヶ丘のプールという部分で、私は内容を知っているんですけども、親も一緒について行ってこの教室を受けるとい部分なんですけど、うちも小学4年生の男の子で体が大きいんですけど、例えば着替えをする場合、女性のお母さんがついて行くとなったときに、更衣室の問題があったりですとか、シャワーなどを浴びて着替えて戻ってくるというところを、ちょっと一緒に行けないという問題があるので、ちょっと行けないよねって言っている方もいらっしゃるって、この教室自体あることは知っている人も多いんですけども、例えば手助けしてくれるスタッフの方がいらっしゃるのかとか、ちょっと内容がわからなくて利用できないという方もいらっしゃるのと、2年前ぐらいでしたかね、水泳じゃなくて障がい者スポーツのボッチャというスポーツの教室を一度酒田市さんも行っていただいた時に、うちの子も、すごく楽しみで参加させていただいたんですが、水泳に限らずそういったスポーツ、障がいのある子どもでもできるようなスポーツを、今コロナ禍で難しいかもしれないですけども、そういった企画などもこれから考えなどがあるのかということもちょっとお聞きしたいなということで質問させていただきました。

○灰谷会長

ありがとうございます。こういった質問が出たのですが、いかがでしょうか。

○健康福祉部長

プールは実際に何年前も同様のご意見があって、ちょっと記憶が定かでないのですが、確かプールの方をお願いできる状況のお子さん、それができないお子さんで対応が難しいというような話、そのお子さんお子さんの状況によってということもあったかと思えます。福祉サービスの利用というようなこともセットでできないかというようなことも相談した経過があったと記憶していますが、詳細は、またプールに、水泳協会の方に確認させていただいて、皆さん全体にご回答させていただく形をお願いします。あと、ボッチャについては、酒田市がニュージーランドのパラのトライアスロンのホストタウンになったという関係で、地域共生社会の実現のホストタウンの指定を受けたということもきっかけに、全員にパラスポーツを体験して欲しいということで、ボッチャをいろんなところで体験を

する教室を開いて、そこに、支援学級、支援学校などに通われてるお子さんと親御さんを対象にして、何回か教室はさせていただきました。コロナの影響で、少しできなくなっているのですが、状況を見ながら、施設的なものも見ながら、また検討していきたいと思います。ありがとうございました。

○灰谷会長

ありがとうございます。光ヶ丘プールについては、また後でご回答いただけるということですので、よろしく願いいたします。

ほかには皆さんいかがでしょうか。改めていろいろな活動だったり、コロナの影響の話が多かったと思うんですけども、そういうのも踏まえて、何かお気づきの点とかないでしょうか。自分の分野、お立場以外の部分でも気になっている、今のお話を聞いて皆さんの話を聞いてというのがもしあるようであれば、ぜひ声を上げていただければと思うのですが、いかがでしょうか。とりあえず、協議（１）はこれで終わりということになります。また、なかなか熟読するのは難しいと思うのですが、今回いろんな取り組みを聞いて、また気になった部分などは、また次の会議の時だったり、来年度以降でも、また今年度どんなふうになっていくのかというのを見据えていただいて、考えていただければいいかなと思います。お願いします。

～ 4 報 告 ～

○灰谷会長

次に、（２）新型コロナウイルス感染症による臨時休校等の状況について、資料２により事務局から説明をよろしく願いいたします。

○学校教育課指導主幹

（資料２により説明）

○灰谷会長

ありがとうございます。すいません。報告（１）の方になってしまっていました。協議の方で、その他として協議したいことがあればというご提案の部分が抜けていたのですが、いろんなご意見を聞いたので、まとめて後でお話を聞きたいと思います。

報告（１）で、今臨時休校等の状況についてご説明がありました。これについて何かご質問はございますでしょうか。そうしましたら、新型コロナウイルス感染症による臨時休園等の状況について、資料３の説明をお願いいたします。

○子育て支援課課長補佐兼保育支援係長

報告の前に、先ほどにこっとさんから、ファミリーサポートセンターのお話がありました。昨日、令和４年度の酒田市子育てガイドブックできたばかりですので、皆さんにも参

考までに資料としてお配りしたいと思います。後ほどご覧いただければと思います。

(資料3により説明)

○灰谷会長

ありがとうございました。新型コロナウイルス感染症による臨時休園等の状況についての説明及び報告がありました。このことについて、先ほどの学校の休校の方もすべて含めて、もし何かご意見またはご質問等ございますでしょうか。皆さん、大丈夫でしょうか。

それでは、次に(3)の臨時休園に伴う代替保育事業について(変更点)ということで、資料4のご説明及び報告をお願いします。

○子育て支援課課長補佐兼保育支援係長

資料4により説明

○灰谷会長

ありがとうございました。臨時休園に伴う代替保育事業について、変更点を中心にご説明がありました。ご意見またはご質問など、おありでしょうか。もし、お聞きしたい点があれば皆さまいかがでしょうか。それ以外に、この三つの報告を踏まえて、質問、意見等はございませんでしょうか。では最後に、その他として委員の皆様から、これも先ほど情報提供をしていただいたかなとは思いますが、協議のところでその他協議もあればとお伝えしたんですが、この場を生かして何かこういったことを話し合いたい、もしくは、様々な情報が出てきていますが、情報提供を今思いつかれたというのがあれば、ぜひお願いいたします。いかがでしょうか。

ないようでしたら、ちょっと順番が前後したり、飛ばしてしまったりしてしまったのですが、以上をもちまして議事を終了したいと思います。委員の皆様には、会議の進行にご協力いただきまして、ありがとうございました。では、事務局へお渡ししたと思います。拙い司会進行となってしまうで大変失礼いたしました。どうもありがとうございました。よろしくお願いたします。

～ 5 その他 ～

○子育て支援課課長補佐

灰谷会長ありがとうございました。事務局からお知らせをいたします。次回の会議につきましては、開催時期が決まりましたら、文書でご案内をいたします。次に、民間からおいでいただいている皆様には、報酬及び旅費をお支払いいたします。お手元の小さい封筒に内訳書を入れて、お配りをしております。およそ3週間程度で、指定の口座へ振り込みをさせていただきます。また、今回から新たに委員をお引き受けいただきました方につきましては、口座振替払申出書、及び個人番号報告書の提出を事前をお願いをしております。閉会後に事務局までご提出をお願いいたします。以上事務局からご連絡でした。皆様からほか何かございませんでしょうか。

～ 6 閉 会 ～

○子育て支援課課長補佐

それでは、ないようですので会議を閉めさせていただきます。長時間にわたりご審議いただき、ありがとうございました。以上をもちまして、令和4年度第1回子ども・子育て会議を閉会いたします。お気を付けてお帰りください。

【後ほど回答するとした質問事項について】

(質問)

障がい児を対象とした水泳教室での着替え等の対応について(会議記録 18 ページ参照)

(回答)

着替えなどでお子さんに介助者が必要な場合は、通常のロッカー室ではなく別室を利用するなどの対応を、申し込みの際などにお申し出いただいています。また、中学生以上については、保護者は同伴できないことになっていますが、お子さんの障がいの程度や着替えの慣れなどを考慮しながら、スタッフの配置を検討し対応することとしています。(教育委員会スポーツ振興課)